

# 抗がん剤混合調製ロボット

## 保守業務仕様書

令和 5 年 3 月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

#### 1. (目的)

抗がん剤混合調製ロボット（以下「物品」という）が常に正常な状態で作動するように維持すること及びそのために必要な保守業務を円滑に実施することを目的とする。

#### 2. (契約期間)

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

但し、本件物品を更新する場合は、本保守契約の終了について発注者及び受注者で協議を行う。

#### 3. (保守対象装置)

名 称：抗がん剤混合調製ロボット

数 量：一式

設置場所：大阪市中心区大手前三丁目 1 番 69 号

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 1 階薬局

#### 4. (保守業務)

物品の機能を維持するため、次のとおり保守を行うものとする。

##### (1) 保守点検

受注者は、1 年度あたり、定期動作点検作業 2 回、定期清掃作業 4 回、定期清浄度点検作業 1 回（必要に応じて給排気 HEPA フィルターの交換・手配を含む）を実施し、業務委託期間中に協議のうえ発注者の指定する日に保守点検・整備を実施すること。

##### (2) 緊急修理

受注者は、保守点検とは別に装置に故障等が発生した場合、発注者の要請によりその都度技術員を派遣し、緊急修理を行うものとする。

##### (3) 部品代

保守点検及び修理時に交換する劣化部品及び作業費等は、受注者が負担する。

##### (4) リモートメンテナンスサービス

受注者は通信回線による遠隔操作による装置の保守を行うものとする。主な内容は以下のとおりとする。

- ① 監視情報自動送信機能によるワーニング・エラー情報受信確認ができること。
- ② ワーニング・エラー情報受信によるメーカー側からのリモートアクセス作業ができること。
- ③ 障害時にはリモートアクセスにて、制御端末に集約されたロボット情報の受信・把握ができること。

- ④ リモートアクセスにて送信できる薬品情報や設定等の対応ができること。
  - ⑤ リモートアクセスにて送信できるプログラムや実行ファイルによる改修対応ができること。
  - ⑥ リモートアクセスにてロボット本体・管理システムが復旧した際には薬剤部門システムとの連携確認作業ができること。
  - ⑦ リモートアクセスあるいはオンサイトにて制御端末のデータベース・アプリケーションの管理ができること。
  - ⑧ リモートアクセスあるいはオンサイトにてロボット用調製用ベースマスター（抗がん薬などの薬品形状や特性などロボット特有の動作制御に必要な情報）のメンテナンスデータ提供作業ができること。
- (5) アプリケーションサポート
- 受注者は当センターから装置の改善または操作方法等の問い合わせ、相談があった場合、電話又は出張サービスにより対応するものとする。出張サービス費については都度協議するものとする。
- (6) セキュリティ
- メンテナンス時にファームウェアのアップデートが可能な場合は行い、医療情報部へ詳細情報を報告すること。

## 5. (報告書の提出と検査)

受注者は、4の保守業務の完了後、速やかに報告書を発注者に提出するものとする。

## 6. (損害賠償)

- (1) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により発注者の建物、設備等を滅失又毀損した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。
- (2) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により保守対象以外の発注者の装置、データ、プログラム等を損傷または滅失した場合、受注者はこれを原状に復し、または、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。
- (3) 受注者の責にきすべき事由により、4の保守業務の一部または全部を行うことが出来ず、発注者に損害が生じた場合には、発注者は損害金の支払いを受注者に請求することができる。

## 7. (個人情報の保護)

受注者及び本件業務に従事している者又は従事していた者は、業務上知り得た個人情報を第三者に漏らし、又は他の目的に利用してはならない。